

名人技に刺激 園児ハッスル

福井市運動公園一丁目の社中央第一保育園で十七日、一月に県内で初めて小倉百人一首競技かるたの名人を獲得した川崎文義さん(七〇)越前市下太田町を招き、園児のかるた大会が開かれた。

社中央保育園と社中央第二保育園の年長、年中児約八十人のうち、百人一首とことわざかるたでそれぞれ予選を勝ち抜いた八人が出場。百人一首のかるた競技では、川崎さんと妻の岩堀聡美七段(七〇)、園児らが見守る中、年長児八人が「はいっ！」と大きな声を出して札を取り合った。

川崎さんと岩堀さんは、

福井 保育園でかるた大会



園児に模範試合を披露。目にも止まらぬ速さで札を取り合う迫力に、園児たちは「札がはじき飛んだよ」「こんなふうに強くなりたい」「僕も練習を頑張るぞ」と刺激を受けていた。

川崎さんは「この中から将来の名人が出たら」と期待し、「その時に子どもたちを待ち受けられるよう、第一線で活躍し続けなければ」と決意を新たにしていた。

(上原梨花)

百人一首かるたを取り合う園児を笑顔で見つめる川崎文義さん(左)福井市の社中央第二保育園で